

for Pharmacist

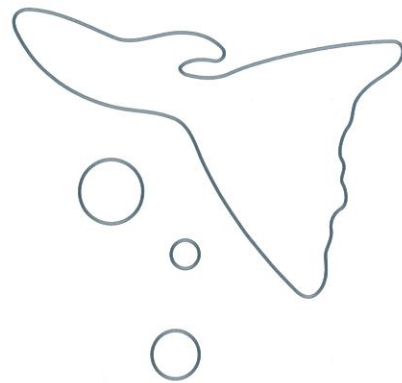
薬剤師の明日をリードする

Vol.1

# LEADER



薬局業界をリードする  
**10人の社長**





## 株式会社メネフィット

代表取締役社長

# 広本進煥

調剤薬局、訪問薬局、コンビニ薬局と多角的に事業を展開する株式会社メネフィット。事業の軸になっているのは、広本進煥代表取締役社長の“ケア”に基づくオリジナルの発想力だ。

## “ケア”という領域を軸にして、オリジナルの未開の分野を開拓したい

### ▶ 牛井屋のアルバイトを通して、薬剤師の立ち位置を知る

一步一步、前へ前へ。

広本氏が株式会社メネフィットを立ち上げるまでの歩みは、軽やかとは言い難い。人脈もコネもなかった広本氏は、一からすべてを築き上げ、愚直に前へ進むしかなかった。

広本氏が星薬科大学を卒業したのは1989年。自身が薬局を開業する1996年までの7年間、独立することを念頭に入れながら、医薬品メーカーや調剤薬局で勤務する。

広本氏は、独立資金を少しでも早く貯められるように、昼は調剤薬局に勤め、夜は牛井屋でアルバイトにはげむこととなる。牛井屋での経験は、資金の調達面だけでなく、薬剤師の立ち位置を見るうえでも大きなプラスになったという。

「調剤薬局と牛井屋とでは、お客様の態度に大きな違いがあります。調剤薬局では薬剤師は先生として見られ、普通のことをやっているだけで『ありがとう』と言ってもらえます。牛井屋の場合には、お客様から怒られることのほうが圧倒的に多く、感謝の言葉などいただけません。昼と夜とで自分という人間は変わらないのに、お客様からの見られ方がまったく違うことに、違和感のようなしっくりこないものを感じました。そして、薬剤師という職業は恵まれているだけに、調剤薬局は接客業という意識が薄いことに気づきました。患者様をお客様として、できる限りのサービスを提供したいと思うようになったのは、牛井屋の経験のおかげかもしれません」

独立資金に目途が立つと、薬局を開局するための準備とにかかる。とはいえ、医師との繋がりがあわけではない。休日を利用して、処方せんを発行してもらえ医師を探しまわった。訪問した医院は100軒以上。やっとの思いで医師にめぐり合ったが、近くに開局できる物件が見つからない。物件探しにそれから1年。1996年、ついに記念すべき第1店舗、「すみれ薬局」の開局に結びつけ、翌年には

株式会社メネフィットを設立する。

「人間、やる気があれば、なんとかなるものですよ」

広本氏は、がむしゃらに飛び回った当手を振り返り、苦笑した。

### ▶ “ケア”という考え方にに基づき、訪問薬局とコンビニ薬局を開設

開局以来、広本氏が経営の根幹に据えたのは、“ケア”を軸にしたサポート体制の構築である。生活シーンで“ケア”が必要となる場面において、いかにして薬剤師の職能や薬局の機能を生かしていけるかを考えていった。

その結果、2001年には在宅事業に参入し、ファーマケア訪問薬局を開設。2008年には、コンビニエンスストアのローソンと連携し、東急東横線の「都立大学」に調剤併設型の「ナチュラルローソン都立大学駅前薬局」をスタートさせた。

訪問薬局とコンビニ薬局では、コンセプトに大きな隔りがあるように思えるが、“ケア”とはどのような繋がりがあのだろうか。

「はじめに調剤薬局を開局したときは、来局していただいたお客様を、医薬品を通して“ケア”をするという発想に立っていました。しかしながら、自宅から出られないお客様を“ケア”していくためには、薬局機能だけでは事足りません。在宅事業にも力を入れていくことで、お客様を最後までしっかりと“ケア”したかったです。また、コンビニ薬局を開局したのは、健康で快適な生活をサポートするために、安心して安全な商品を提供し、日々の食が健康

を維持すると考えたことが大きな理由です。薬局と“食”が結びつくことで“ケア”を気軽に体感してもらえるようになりました」

### ▶ 夢を掴むためには、オリジナルな考え方を

既存概念にとらわれず、訪問薬局やコンビニ薬局と新たな分野を切り開いてきた広本氏。“ケア”の領域で、新分野を開拓する原動力になったのは、広本氏が持つオリジナルの発想力だ。これからの未来を背負っていく若き薬剤師には、周りに流されず、独自の考え方を身につけてもらいたいと指摘する。

「薬剤師は似たような環境で学んできたこともあって、個々の考え方に大きな差異が生まれづらいように思います。しかしながら、新たな分野を開拓していくためには、横並びの考えではアイデアは生まれません。10代、20代のうちは、安易に周囲へ合わせず、自分の意見を貫くぐらいでちょうど良いのではないのでしょうか。薬剤師も先が見えづらい時代になってきました。そういう時代だからこそ、自分だけの理念と芯を持ち、夢に向かって進んでもらいたいです」

今後の事業展開に対して、広本氏は、「“ケア”を軸にして、誰もやったことのない分野にチャレンジしたい」と言い切る。

これからも広本氏は、開業当時の志を抱いたまま、独自の夢を実現するために、力強く歩み続けるのであろう。

一步一步、前へ前へ。



#### Personal Profile

- 氏名 広本進煥(ひろもと・しんかん)
- 生まれ 1965(昭和40)年5月
- 座右の銘 努力
- 忘れられない1冊 一倉定の書籍
- 尊敬する人 祖父

#### Company Profile

- 社名 株式会社メネフィット
- 本社所在地 東京都目黒区大岡山1-1-12
- 創業年 1997(平成9)年
- 資本金 2,800万円
- 従業員数(薬剤師数) 43名(薬剤師:20名)
- 店舗数 5店舗
- エリア 東京